



JPX

**JAPAN EXCHANGE
GROUP**

- Your Exchange of Choice -

第二次中期経営計画のアップデートについて (2018年度)

2016年度

2018年度

2018年4月27日

株式会社日本取引所グループ

「バランスの取れたビジネスポートフォリオの実現」を中長期的な将来像として設定
「収益多角化、安定性向上のための投資」を強化
戦略的投資の強化により、営業収益・当期利益の上積みを目指す

コンセプト

重点的な取組み

STEP UP TO THE NEXT

中長期的に目指す「将来像」

バランスがとれたビジネスポートフォリオ



- I 投資家の多様な投資ニーズを充たすとともに
中長期的な資産形成を活性化する
- II 上場会社の価値向上を支える
- III 市場基盤の強化により社会の期待に応える
- IV 取引所ビジネスの新たな地平を開拓する

I

投資家の多様な投資ニーズを充たすとともに中長期的な資産形成を活性化する

個人投資家層の資産形成活性化

ETF保有者数: +17万人 (2015年7月末比)

デリバティブ商品の多様化

東証マーズ指数先物など4商品の取扱いを開始

魅力ある投資商品の上場

ETF純資産額が30兆円を突破、インフラファンド4銘柄上場

多様な機関投資家の誘致

海外投資家を中心とする日本市場への新規参入

指数・情報ビジネスの発展

JPX日経中小型株指数、JPX/S&P設備・人材投資指数等の開発

II

上場会社の価値向上を支える

コーポレート・ガバナンスの実効性向上

88%の会社が2名以上の独立社外取締役を選任

(市場第一部上場会社/2017年7月現在)

リスクマネーの安定的な供給

IPO社数は83社と安定的に推移

III

市場基盤の強化により社会の期待に応える

BCP・サイバーセキュリティの強化

長期間バックアップ体制の構築、BCPの更なる強化

市場運営に係るリスク管理の充実

包括的リスク管理フレームワークの導入

高速取引に係る登録制の導入への対応

円滑な登録に向けた顧客サポートを強化

次世代売買システムの構想

売買制度WGの議論に基づきコンセプトを整理

清算・決済サービス拡大・システム強化

清算システムのリプレイスと決済期間短縮に向けた準備を推進

自主規制業務の高度化

売買審査業務に対してAIの適用を開始

IV

取引所ビジネスの新たな地平を開拓する

新たなビジネス領域への進出

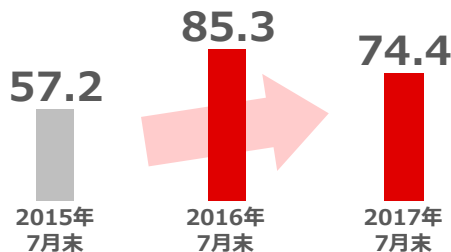
TOCOMへのシステム提供、ETF設定・交換フローの改善に向けた対応

フィンテックの活用に向けた検討

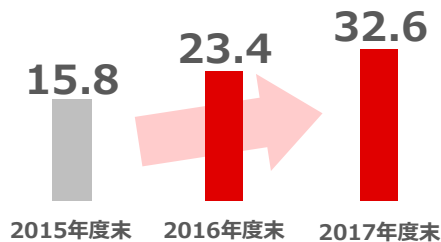
業界連携型ブロックチェーン実証実験を推進

ビジネス基盤の強化

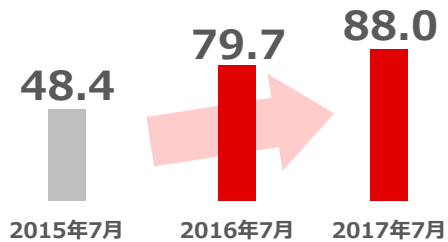
創造的な組織風土の醸成、働き方改革の推進



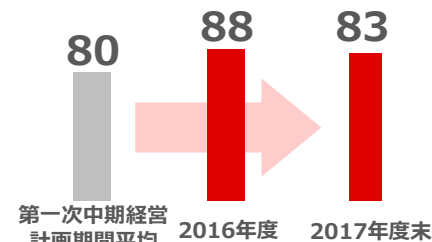
ETF受益権保有者数 (万人)



ETF純資産額 (兆円)



複数の独立社外取締役を選任する会社 (%)



IPO社数 (社)

アップデート方針

内外の経済情勢や金融政策、地政学リスクの動向など、外部環境の不透明性・不確実性は引き続き存在これらに大きく左右されることなく、常に安定的に利用者の満足度が高い市場インフラを提供することが最大の経営課題

- 現下の外部環境や想定される課題等を踏まえつつ、これまでの進捗や効果を確認しながら、第二次中期経営計画の達成に向けた仕上げの1年として実行計画を見直す
- 引き続き、市場の信頼性及び効率性の維持・強化に重点を置きつつも、フィンテックによって生じうる変化の方向性なども展望しながら、重点的な施策を追加・修正する
- 2019年度以降の次期の中期経営計画に向けた助走期間として、ESG投資の促進や人材基盤の強化、フィンテックの活用など、新しい経営課題へのリサーチや投資強化を進める

主なポイント

I 投資家の多様な投資ニーズを充たすとともに中長期的な資産形成を活性化する	個人投資家層の資産形成活性化 デリバティブ市場の競争力の維持・強化 現物市場の機能強化・ETF市場の活性化 指数・情報ビジネスの発展	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個人投資家層の資産形成活性化に向けた取組みを強化・深化 ・ デリバティブ市場の競争力の維持・強化に向けた対応を推進 ・ 現物市場の機能強化、ETF市場活性化の取組みを強化 ・ API提供など新たな情報配信サービスの提供の推進
II 上場会社の価値向上を支える	コーポレート・ガバナンスの実効性向上 リスクマネーの安定的な供給 魅力ある投資商品の上場	<ul style="list-style-type: none"> ・ コーポレート・ガバナンスの充実に向けた対応を推進 ・ リスクマネーの安定的な供給のための制度の検証と改善 ・ IPOの促進、上場商品の多様化に向けた対応を推進
III 市場基盤の強化により社会の期待に応える	BCP・サイバーセキュリティ・リスク管理の強化 高速取引への対応と移行サポート 清算・決済サービスの拡大・基盤強化 自主規制業務の強化・高度化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新セカンダリデータセンタの整備などBCPの強化 ・ HFT登録制を踏まえた監視機能とサポートの強化 ・ 国債・株式の決済期間短縮に向けた着実な対応 ・ 未然防止・再発防止に主眼を置いた上場管理の推進
IV 取引所ビジネスの新たな地平を開拓する	ESG投資の普及に関する取組みの強化 フィンテックの事業活用の推進 人材基盤・事業基盤の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・ SSEイニシアティブへの参画等を踏まえたESG投資の推進 ・ フィンテックの事業活用に向けた対応や技術動向の注視 ・ 事業戦略を支える人材基盤・事業基盤の強化を推進

I 投資家の多様な投資ニーズを充たすとともに、 中長期的な資産形成を活性化する

概要

- 投資家層の裾野拡大に向けた金融リテラシー向上に関する取組みの強化とアプローチの深化
- 成長に向けた事業領域としてデリバティブ市場の競争力の維持・強化に向けた対応
- 現物市場の機能強化に向けた対応や資産形成に資するETF市場の活性化に向けた対応の推進

重点的な取組み

※ 下線は、主な変更箇所を示します。

1 個人投資家層の資産形成活性化

- 投資家層の裾野拡大に向けた取組みの強化とアプローチの深化
- 金融リテラシー向上のための金融経済教育の推進
- 個人投資家層のデリバティブ認知度の向上

2 デリバティブ市場の競争力の維持・強化

- 国際的な動向も踏まえた競争力の維持・強化に向けた対応
- 新しいデリバティブ商品の普及・定着と取引活性化に向けた対応
- 新規投資家の参入促進による流動性の向上
- 総合取引所化に向けた研究・検討の推進

3 現物市場の機能強化・ETF市場の活性化

- 現物市場の機能強化のための制度改善、システム開発の推進
- ETFマーケットメイク制度の導入と流動性の向上に向けた対応
- ETFの設定・交換フローの改善に向けた対応
- 新規投資家の参入促進による流動性の向上

4 指数・情報ビジネスの発展

- JPX指数連動資産拡大に向けた体制強化、プロモーション
- ユーザーニーズの多様化に応える新指数の開発
- 新たな情報配信サービスの提供の推進及び拡大の検討

Ⅱ 上場会社の価値向上を支える

概要

- コーポレート・ガバナンスの実効性向上に向けた対応の強化
- 投資家の視点を組み込んだ経営の普及や上場会社と投資家との対話の促進
- 地域金融機関との協業などを通じた上場支援、資産形成に資する魅力ある投資商品の上場支援

重点的な取組み

1 コーポレート・ガバナンスの実効性向上

- コーポレート・ガバナンスの充実に向けたコーポレートガバナンス・コードの見直しとフォローアップの推進
- 投資家の視点を組み込んだ経営の普及や非財務情報の開示環境の整備等による上場会社と投資家との対話の促進に向けた対応

2 リスクマネーの安定的な供給

- 市場関係者・地域金融機関との協業などを通じたIPO支援
- クロスボーダー案件の上場推進
- 市場区分の見直し

3 魅力ある投資商品の上場

- 多様なアセットクラスを対象とするETFの拡充
- REIT・インフラファンドに対する上場支援・環境整備

Ⅲ 市場基盤の強化により社会の期待に応える

概要

- 広域災害に備えた市場運営体制の着実な運用と新セカンダリデータセンタの着実な整備
- HFT登録制の導入を踏まえた監視・審査体制の強化と移行サポートの強化
- 国債決済期間短縮、株式決済期間短縮への対応と現物清算システムのリプレースの着実な推進

重点的な取組み

1 BCP・サイバーセキュリティ・リスク管理の強化

- 広域災害に備えた東西相互バックアップ態勢の強化
- 新セカンダリデータセンタの着実な整備
- サイバーセキュリティの強化・高度化

2 高速取引への対応と移行サポート

- HFT登録制の導入を踏まえた市場監視機能の強化
- HFT登録制の導入を踏まえた円滑な移行サポート
- 新規参加者の参入促進
- コネクティビティ・サービスの拡大

3 清算・決済サービスの拡大・基盤強化

- 国債決済期間短縮（T+1化）の円滑な移行
- 株式決済期間短縮（T+2化）への着実な対応
- 現物清算システムのリプレースに向けた対応
- OTC清算サービスの利便性の向上

4 自主規制業務の強化・高度化

- 売買審査業務におけるAIの活用
- 未然防止・再発防止に主眼を置いた上場管理の推進

IV 取引所ビジネスの新たな地平を開拓する

概要

- SSEイニシアティブへの参画等を踏まえ、ESG投資の普及に関する取組みを強化
- フィンテックの事業活用に向けた対応や、デジタル通貨/仮想通貨を巡る動向の調査・注視
- 環境変化を着実に捉えて、取引所ビジネスを支え発展させていくための人材基盤と事業基盤の強化

重点的な取組み

1 ESG投資の普及に関する取組みの強化

- グリーンボンド等の開示プラットフォームの着実な運用
- ESG等の非財務情報の開示環境の整備
- 再エネ発電等を対象とするインフラファンド市場の育成
- ESGに関連する指数の開発、普及

3 人材基盤の強化

- 新卒・中途採用（専門人材）の強化など多様な人材の継続的な育成・確保
- 多様な人材の活躍や業務効率化などを通じた働き方改革の推進

2 フィンテックの事業活用の推進

- 業界連携型ブロックチェーン実証実験の更なる推進（証券界・金融界の研究開発プラットフォームとしての活用促進）
- デジタル通貨/仮想通貨及びICOを巡る動向の調査・注視
- AI（Artificial Intelligence）、RPA（Robotics Process Automation）の活用による業務効率化の推進

4 事業基盤の強化

- 海外ビジネス基盤の強化（海外取引所との共同プロジェクト、制度・インフラ構築の支援の推進）
- 調査研究機能、情報発信機能（PR機能）の強化
- ESG視点からの経営に向けた対応【CEO直轄の専門組織の新設等】の強化

- 現下の市況を前提とすると、第二次中期経営計画の最終年度において目標水準を達成見込み
- システム提供やOTC清算の強化など周辺ビジネスの拡大、ETF市場活性化などの取組みも貢献

	第二次中期経営計画期間			参考
	2016年度 実績	2017年度 実績	2018年度 業績予想 ※1	第二次中期経営計画 最終年度目標 (第一次中期経営計画比) ※2
営業収益	1,078億円	1,207億円	1,230億円	1,230億円 (+150億円)
当期利益 (親会社の所有者帰属分)	421億円	504億円	480億円	480億円 (+80億円)
ROE	16.4%	19.0%	17%程度	17%程度 中長期的に維持する水準として、 ROE10%以上と設定

※1 2018年度業績予想は、現物 1 日平均売買代金3.45兆円、デリバティブ年間取引高3.6億枚を前提としたものであり、市況等の外部環境によっては当水準から乖離することにご留意ください。

※2 第一次中期経営計画の実績については、2013年度から2015年度までの3か年の売買実績（現物 1 日平均売買代金3.1兆円、デリバティブ年間取引高3.5億枚）に基づいた収益・利益水準の試算値

第二次中期経営計画における経営財務方針、中長期的な資本政策の大枠は維持

市場の持続的な発展を支えるべく、財務の安全性と株主還元とのバランスをとりつつ、積極的な成長投資に伴う収益・利益の拡大及び安定性向上を図る



当社ROEは市況により大きく変動

金融緩和前5年間（2008－2012年度）の平均ROE5%程度※

金融緩和後3年間（2013－2015年度）の平均ROE16%程度

市況にかかわらず

資本コストを上回るROE10%を中長期的に目指す

※金融緩和前5年間（2008－2012年度）のROEは、統合前のTSEとOSEの当期利益及び自己資本の額をそれぞれ合算して算定

本資料は、株式会社日本取引所グループ（以下「当社」という）に関する情報提供のみを目的とするものであり、国内外を問わず証券の募集や勧誘を目的とするものではありません。当社証券は1933年米国証券法に従って登録がなされたものでも、また今後登録がなされるものでもなく、1933年米国証券法に基づいて証券の登録を行うか又は登録の免除を受ける場合を除き、米国において証券の募集又は販売を行うことは許されません。

本資料には、将来に関する記述が含まれております。こうした記述は、本資料作成時点における入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る仮定を前提としており、かかる記述及び仮定は将来実現する保証はなく、実際の結果と大きく異なる可能性があります。また、事業戦略など、将来の見通しに関する事項はその時点での当社の認識を反映しており、一定のリスクや不確実性が含まれております。そのため、将来の見通しと実際の結果は必ずしも一致するものではありません。当社は、これらの将来の見通しに関する事項を常に改定する訳ではなく、またその責任も有しません。